

第107回 経営協議会議事録

日時 令和4年3月28日（月）14時00分～15時33分

場所 和歌山大学南1号館（事務局棟）3階共通会議室

出席者 伊東学長

清木委員、田村委員、辻委員、西平委員、渡辺委員

永井、恵下、中川、松谷、山本 各理事

（松原監事、柏原監事、添田副学長、足立副学長、マグレビ副学長、本山教育学部長、芦田経済学部長、野村システム工学部長、尾久土観光学部長、満田戦略情報室長、橋本企画課長、南方総務課長、猪原財務課長）

欠席者 下委員、島委員、森田委員

学長から、第103回、第104回（11月26日）、第105回（書面審議）及び第106回（書面審議）の議事録について確認があった。

議 題

1. 社会インフォマティクス学環（仮称）の設置申請について

永井理事から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・学環独自で入試を行うのか。

→学環独自で入試を行うことを考えている。

・他大学でも同じような教育課程を設置しているのか。

→先行事例として岐阜大学社会システム経営学環がある。

・学環の人材育成の強みはどこにあるのか。

→3学部（経済学部、システム工学部、観光学部）の分野を融合し、企業等と連携したデータ利活用を実践していくこととしている。

（主な意見）

・国立情報学研究所も英語名称にインフォマティクスを使っており、社会インフォマティクス学環という名称は妥当であると考えます。

・企業等と連携した実データを利用した教育は非常に重要だと思うので、これからの教育に期待している。

2. 国際イニシアティブ基幹等設置に伴う規程整備について

松谷理事から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・日本学という言葉の定義は何か。

→日本や地域の文化や歴史を中心に日本語・日本文化を学ぶことを、本学では「日本学」と称している。

### 3. 令和4年度当初予算（案）について

中川理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・第4期中期目標期間以降も運営費交付金の3種類の考え方は継続しているのか。

→3類型が再編成され、重点支援①の地域貢献型が医学部を持つ大学と持たない大学に区分されることとなった。

### 4. 国立大学法人和歌山大学就業規則等の一部改正について

松谷理事から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

## 報 告

### 1. 第4期中期目標・中期計画について

松谷理事から、資料5に基づき説明があった。

最後に、学長から、今年度末で任期満了を迎える学外委員へのお礼の挨拶があり、その後、来年度からの第10期経営協議会委員の紹介があった。

以 上